

大阪市教

2015年4月9日
VOL. 513

発行 大阪市学校園教職員組合
大阪府中央区法門坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990



専門部労働条件改善交渉

切実な声を届けて要求実現へ

大阪市教は3月10日、各専門部による労働条件改善交渉を行いました。

事務職員部は、主査選考枠の拡大を要求。「標準職務」は校務分掌で分担する但し書きを含めて今までと扱いが変わらないことを確認しました。就学援助加配の大幅削減で、初めて1名校になる中学校についてはアルバイト対応を行うと回答。

養護教職員部は、定期健康診断の負担が大きいことから、府下では歯科や耳鼻科検診を自校で行わない市町村がある、軽減を検討されたいと訴え。心臓検診システムの見直しでは、説明が不十分であったこと土曜日の検診は避けるべきと指摘。幼稚園部は、休憩が取れない実態を指摘。条例にかけられている幼稚園教員的大幅給与削減を

改めて不当であると切実な声を当局につきつけました。

栄養教職員部は、民間委託校の栄養士資格者がパート可能になる問題を取り上げ、打ち合わせ時間が持たず仕事に大きく影響することを指摘。中学校給食に関しては栄養教諭の増員を要望。また、小中親子方式の給食実施についての説明を求めました。

障害児教育部では、医療的ケア児の担当者が短時間の休憩すら取れない実態を訴え、看護師の常時配置について考えていると前進の回答を得ました。特別支援教育サポーターの労働条件では時給の増額が明らかに。臨時教職員部は、講師の採用試験に関する改善を要求。時間講師の賃金改善を強く求めました。通勤手当については4月からの改善を確認しました。

時短に向け時間外勤務の把握を

第4回市労働安全衛生協議会

第4回大阪市教職員労働安全衛生協議会が3月30日に開かれ、年間総括・事業予定等が論議されました。

学校に働く職員の復職支援事業の手引きの一部改正(主治医との情報交換の方

法時期の変更等)、校務支援システムを活用した教職員の健康管理、こころの健康講習会の実施校の22校園から50校園に拡充、メンタルヘルス相談を本人からに加え家族からの相談も受け付けられるな

どが決まりました。大阪市教は組合の要求である教職員勤務情報システムによる時間外勤務の把握について、今年度予算がついたことを指摘しシステム改善の見直しについて質問。データの把握が

正確に改善できるよう対応を進めていると説明がありました。また、メンタル不調の誘因にもなるセクシャルハラスメントの窓口について、「学校園に働くあなたに」〜こころを知らだのお話〜にお知らせとして反映させてはどうかと提案しました。関係課と調整し検討するということになりました。

幼稚園給料改善 維新・公明強行 保育の質守れ 給料復元の闘い

幼稚園教員の給料を大幅に引き下げる市条例案が維新の会と公明党の賛成によって3月13日成立しました。

「優秀な人材が大阪から他都市に流れていく。保育の質を下げるとして」給料の大幅な賃下げを行わないことを求める市会陳情が出されました。運動の結果、一時、否決・廃案の可能性が生まれ、大阪府を追い込むことができた。

大阪市平成27年度予算

- 特別支援教育サポーターの配置 577人 (特別支援教育補助員、教育活動支援員)
- 特別支援教育 巡回相談体制の強化
- 医療的ケアの看護師配置 12人
- 学校図書館補助員1人あたり3~4校を巡回
- 副校長を配置拡大15校→24校
- 教頭補佐(首席)を新設・配置0校→14校
- 教頭補助を新設・配置0校→60校
- 小中一貫校で自校調理方式の給食実施
- 中学校給食、小中親子方式モデル事業
- 普通教室に60インチ液晶テレビ(2年間)

公募校長11人中6人辞任 市統一テスト、学校統廃合反対

公募校長2名が3月に辞職し、初年度(2013年度)就任11人のうち6人辞職となりました。

採用を「原則公募」から「公募できる」とする学校活性化条例の一部を改正する条例案が昨年5月、8月に2度可決されました(市長の「再議」で否決)。

廃合の方針を3月24日決めました。萩之茶屋、今宮、弘治、津守、梅南、鶴浜、鶴町は2015年4月で完了したため、11学級以下で今後全学年単学級が見込まれる43校について「統合」に着手するつもりです。今後、「統合」は区長の責任のもと主体的に進め、教育委員会事務局は必要な情報を提供す

る役割分担とし、市長の教育介入を一層強めるものです。統廃合のための小中一貫校づくりが進められていますが、日東小学校の地域から2・3月市会に日本橋小中一貫学校建設に反対する陳情書「私たちの日東小学校は現在約240名、廃校など認めるわけにはいきません。又地域町会活動、地域コミュニティの中心的役割を担っております。」が提出されました。

大阪府は市民とともに、30人以下学級を実現すれば「統合」対象校は減少する、小さな学校を大切にすることが世界の流れ、小中一貫校は子どもの育ちに問題、地域にとって学校は大切と訴え運動を進めます。

たんぽぽ だより 4月

新学期がスタートしました。新採用の皆様おめでとうございます。転勤された方は新しい環境で期待と不安でいっぱいだと思います。1年間の目標を計画的にやっ、楽しい実り多い1年になり

まずように。4月、5月は頑張りすぎて体調を崩しやすい時期です。身体が資本なので、疲れを溜め込みすぎないように息抜きもしましょう。悩み事や困ったことは、必ず誰かに相談すること切に活動して

とが大切です。みなさん、悩み事をしっかり相談できていますか?話を聞いてくれる相手はいますか?青年部では月に1回集まって話す機会を設けています。職場で感じたこと、悩みだけでなく、楽しいこともたくさん話します。「つながり」を大切に活動して

4月18日はしんかんフェスタ。みんなが武田美穂さんのがんこちゃんワールドを楽しみましょう。

大阪市教定期大会

5月23日(土) 13時受付
アネックスパル法円坂
JR森ノ宮・地下鉄谷四

先輩のワザ伝授 連続講座

第1回 学級びらき

第2回 しんかんフェスタ 4月18日(土) たかつガーデン

第3回 ダンス講習会 5月10日(日) アネックスパル法円坂

第4回 絵本の読み聞かせ 6月12日(金) 難波市民学習センター

第5回 7月25日(土)

覚道康代さんが「子どもが主役の学級づくり」を講演。校種別交流も行いました。